

平成27年度第1回 しが新事業応援ファンド助成金交付事業 一覧

No.	事業者名	採択事業	本社住所	代表者	事業者市町名	事業名	事業概要	資源の種類	備考
1	有限会社さくや	開発	岐阜県岐阜市北鷄1-59	代表取締役 中野直美	長浜市	地域資源「近江米」を活用したレトルトカレー開発事業	米粉をカレールーのとろみ成分に利用した地産地消のレトルトカレーを開発し、土産物とすることで県外消費者の近江米消費量拡大を目指す。長期間保存されている古米の有効活用にも挑戦し、生産者の抱える課題にも取り組む。	農林水産物	
2	琵琶水産有限公司	開発	高島市今津町浜分612-4	代表取締役 阪田嘉治	高島市	地域資源「琵琶湖産鮎・ビワマス」を活用した開発事業	滋賀の伝統的な食文化のひとつでもある湖魚、中でも代表的な鮎やビワマスを原料とし、新規調理方法で「骨まで食べられる煮魚」の開発に取り組む。食べ易くした煮魚を、お子様からお年寄りまで幅広く食していただき滋賀の食文化を守る。	農林水産物	
3	ゴテソウサマ GoccisoSama	開発	湖南省正福寺1309-175	清水陽子	湖南省	地域資源「環境こだわり農産物のにんにく」を活用した新商品開発事業	高島産有機JAS認定の”にんにく”は、水分量が豊富でふっくらとした味わいが特徴である。このにんにくの規格外品を活かし、ナチュラルヘルシー思考の人々を対象に、手軽に使える【家庭料理に根付く商品】を開発する。	農林水産物	
4	株式会社魚力	開発	長浜市木之本町木之本1565	代表取締役 平井正公	長浜市	地域資源「琵琶湖うなぎ」を活用した高級弁当、高級惣菜の開発事業	琵琶湖産うなぎは、通常の養殖鰻と比べて、肉厚・淡白な味・良い香りが特徴であり、京都の老舗料亭などで高級魚として取り扱われている。その鰻を利用して、プレミアムクラスの弁当、惣菜、ギフト商品を開発する。	農林水産物	
5	神保真珠商店	開発	大津市桜野町1-15-16	伊吹敏明	大津市	地域資源「ビワパール」を活用したアクセサリー及び雑貨の新商品開発事業	知名度も低く、縮小しつつあるびわ湖の真珠を守り広めることを目的とし、そのままでは売れないBランク真珠に装飾を施すことで、ファッション性が高く、真珠に興味のない層をファンにできるような新商品を開発する。	農林水産物	
6	有限会社成子紙工房	開発	大津市桐生2丁目14-26	代表取締役 成子哲郎	大津市	地域資源「近江雁皮紙」に係る技術を活用した大型美術用和紙の開発事業	雁皮紙は、透けるような薄さ、なめらかさ、しなやかさを持った絹のような和紙である。美術大学や美術家から大型サイズの美術用和紙を求められており、それに対応できるような技術を開発して、大津市の伝統産業を育てる。	鉱工業品	
7	株式会社フロントラインプロダクション	開発	大津市唐崎3-1-18	代表取締役 山本大輔	大津市	地域資源「プラスチック製品」を活用したバス釣り専用ルアーの開発事業	当社は従来からルアーの企画・製造・販売を行ってきた。従来品より釣果が期待できる、魚粉をソフトプラスチックに練りこみ成形したバス釣り専用ルアーを開発する。	鉱工業品	
8	株式会社アプライド・モレクトロニクス	開発	大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学RECホール 310号	代表取締役 三浦伸仁	大津市	地域資源「医療・健康機器」を活用したOLED&LEDの光による調査研究と健康機器の開発事業	LEDを用いた健康機器が多く出回っているが、強いLED青色光による目の疲労、網膜破壊、不眠等の問題がある。そこで、LED、OLED光源が人体に及ぼす影響を調査し、健康機器を開発する。	鉱工業品	
9	株式会社清水鐵工所	開発	彦根市安清町4-16	代表取締役 清水克己	彦根市	地域資源「彦根バルブ」を活用した水道用バルブの新商品開発事業	国内の既設水道は取替時期に来ているので、取替工事を容易にし、耐久性に優れた2種類の弁を開発する。①既設管を断水させることなく管路を分岐可能にする弁、②ポリエチレン管と一体化した弁、の2種類である。	鉱工業品	

平成27年度第1回 しが新事業応援ファンド助成金交付事業 一覧

No.	事業者名	採択事業	本社住所	代表者	事業者市町名	事業名	事業概要	資源の種類	備考
10	株式会社金壽堂	開発	東近江市長町273	代表取締役 黄地浩	東近江市	地域資源「伝統工芸品 梵鐘」を活用した小梵鐘新製品の開発事業	700年以上守り育ててきた鑄物鑄造技術を活かして、某本山寺院参拝客のお土産や記念品として、心に響く、余韻の長い小梵鐘を開発する。この事業をきっかけとして、「癒しの音」を特徴とする文化を広めたい。	鉱工業品	
11	株式会社エナシステム	開発	大阪府枚方市伊加賀北町3-6	代表取締役 日下部清成	草津市	地域資源「電子機器」を活用した非常時用発電供給装置の開発事業	電源事情の悪い場所や緊急時に電気が必要な時に発電を可能にするバッテリー内蔵型で、持ち運びが可能なポータブル型および長時間稼働ができる外部電源からの蓄電可能な特徴を有する非常時用発電供給装置を開発する。	鉱工業品	
12	有限会社小川顕三陶房	開発	甲賀市信楽町長野755-1	代表取締役 小川記一	甲賀市	地域資源「信楽焼」の陶芸技術を活用した和モダンテイストの陶食器開発事業	信楽焼の陶土調合技術、釉薬調合技術、焼成技術により、「信楽焼の持つ土味の質感」と「現代的な表情をもつデザイン」を融合させた「和モダンテイストの新しい陶食器」の試作品を開発し、市場調査を行った上で商品化に取り組む。	鉱工業品	
13	株式会社秋山商会	開発	米原市間田字大向289	代表取締役 秋山清	米原市	地域資源である「彦根バルブの技術」を活用した楕円バタフライバルブの開発事業	弁本体内部の円形中空の流体通路に楕円形弁体を備えて、本体ボディの金属内壁と、金属製楕円蝶片を75度などの角度で金属接触により、シール材を一切使用しないで、高気密シール性のバタフライバルブを開発する。	鉱工業品	
14	アクトシステムズ株式会社	開発	草津市大路1丁目1-1 エルティ9324階 B-15	代表取締役 三輪亮太郎	草津市	地域資源「医療・健康機器」を活用した高齢者・認知症患者向け安全確保システム開発事業	高齢者・認知症による徘徊行動は事故や行方不明などを引き起こし社会問題となっている。本事業では高齢者・認知症の介護施設や家族を対象とし、徘徊行動を事前に防止するためのITソリューションを開発する。	鉱工業品	
15	株式会社古川与助商店	開発	大津市桐生3丁目12-1	代表取締役 河村朱美	大津市	地域資源「近江雁皮紙」を活用した和紙糸使用新商品開発事業	弊社は和紙、不織布、各種フィルムの細切り加工業の技術があり、その技術を活かし地域の資源である近江雁皮紙を細く切り糸にして、滋賀県内の織物産地や県工業技術総合センターと連携して新商品開発に取り組む。	鉱工業品	
16	琵琶湖底泥資源化グループ	開発	甲賀市信楽町江田589 日産陶業株式会社内	代表 鎌田忠則	甲賀市	地域資源「信楽焼」を活用した琵琶湖底泥の資源化事業	琵琶湖の底泥を信楽焼陶土に混ぜて還元焼成した多孔質製品を琵琶湖の水環境保全・再生に役立たせるために、信楽焼多孔質製品の開発試作と琵琶湖底泥の資源化を図るための開発を行う。	鉱工業品	
17	Oral Bio Design株式会社	開発	彦根市新開浜2-11-12	代表取締役 上田友和	彦根市	地域資源「プラスチック製品」を活用した歯周病と虫歯の治療及び予防を1種類のマウスピースで対応できる新たなマウスピースの開発(調査・研究、試作開発)事業	本事業は、今まで別々に提供していた歯周病治療に使用するマウスピースと歯周病予防及び虫歯予防に使用するマウスピースを、両用途に使用可能な一つのマウスピースとして新たに試作開発する事業である。	鉱工業品	
18	協和工業株式会社	開発	東近江市小田苅町1790	代表取締役 清水重信	東近江市	地域資源「彦根バルブ」を活用したカムレバーロック式急速空気弁の用途別開発事業	当社の生産品目である「カムレバーロック式水道用急速空気弁」のメンテナンスの利便性、多機能性能を他市場へ展開する。その市場に見合った構造と性能を開発試作し、インフラ整備や有事の際の治水確保等に貢献する。	鉱工業品	

平成27年度第1回しが新事業応援ファンド助成金交付事業 一覧

No.	事業者名	採択事業	本社住所	代表者	事業者市町名	事業名	事業概要	資源の種類	備考
19	株式会社千成亭	開発・販路	彦根市平田町808	代表取締役 上田健一郎	彦根市	地域資源「近江牛」を活用した高付加価値商品開発・販路開拓事業	地域資源「近江牛」を使用した製造難易度の高い非加熱食肉製品を開発し、近江牛ブランドの価値向上と新たな特産物の創造を目指す。また、市場調査で差別化の方向性を打出し、有効なプロモーションにより販路開拓を図る。	農林水産物	
20	株式会社昭和バルブ製作所	開発・販路	彦根市小泉町155-9	代表取締役 中川哲	彦根市	地域資源「彦根バルブ」を活用した安価な海水用バルブの開発・販路開拓事業	コストメリットが大きいと考えられる海水用大型バルブにターゲットを絞り、これまで培ったバルブ技術を基に安価且つメンテナンスフリーを目指し、内面へゴムライニングを施したバルブの試作開発及び販路開拓事業を行う。	鉱工業品	
21	谷口印刷株式会社	販路	長浜市高月町高月618-1	代表取締役 立花丈太郎	長浜市	地域資源「湖北地方の十一面観音・木之本宿等」を活用した観光資源のイラスト販路開拓事業	「地域の素晴らしさを若い世代に繋げ、地域の方に再認識して欲しい」「県内・全国にこれを伝え、長浜を訪れて欲しい」そんな思いから、観光資源をイラストで表現し、「ながはまふるさと百景」を商品化した。今年度は販路開拓を行う。	観光資源	
22	株式会社イマック	販路	守山市幸津川町1551	代表取締役 田中守	守山市	地域資源「電子機器」を活用した関節等の曲げ量測定器の販路開拓事業	スポーツのフォーム解析、産業用ロボットの制御、リハビリ用途といった各方面を対象とするまったく独自の曲げ量測定センサーの販路開拓を行う。具体的には展示会出展、HP作成、展示備品の作製強化、及び新規販路の開拓に取り組む。	鉱工業品	
23	日本アドバンストアグリ株式会社	販路	長浜市末広町617-1	代表取締役 辻昭久	長浜市	地域資源「電子機器」を活用した「機能性野菜粉末」の販路開拓事業	植物工場でのストレス負荷栽培にて、韓国FDAで「血糖値調整に役立つ」健康食品として販売を認められているピニートル等の機能性成分を増やしたアイスプラント(ツブリナ)を主成分とした健康食品「グラシートル」の販路拡大を行う。	鉱工業品	